GTRニッセイ 5年ぶり優勝

中日スポーツ杯 新春選抜リーグ

優勝したGTRニッセイ＝熱田愛知時計120スタジアムで（高野行正撮影）

中日スポーツ杯争奪第65回愛知県軟式野球新春選抜リーグ（中日スポーツ共催）最終日は31日、熱田愛知時計120スタジアムで3試合があり、自力優勝を目指したフタバ産業は3－5で三京アムコにサヨナラ負けし、勝ち点6に止まった。この結果、勝ち点6・5で日程を終了しているGTRニッセイが5年ぶり21度目の優勝を飾り、伊藤哲也・中日スポーツ報道部長から原田知希主将に中日スポーツ杯が贈られた。小林クリエイトは7－3でニデックを下し、東郷製作所は4－1で豊田鉄工を破った。

東郷製作所（3勝5敗1分）
0002001100－4
0000000100－1
豊田鉄工（3勝6敗）
※高田小代田（東）
小林クリエイト（5勝4敗）
1003300000－7
0001002000－3
ニデック（5勝3敗1分）
※高田高田（小）竹内、木谷（ニ）
フタバ産業（6勝3敗）
0001020000－3
0000030002－5
三京アムコ（4勝3敗2分）
※高田長辺（フ）平戸（ア）

フタバ産業敗れ

GTRニッセイはスタンドに待機してフタバ産業の敗退を見届けた。5年ぶりとなる優勝に前田卓哉監督は「初戦に負けた後も全員があきらめずに粘りを見せてくれた。うちは投手が3人だけで苦しかったが、みんなが自覚を持って野手陣と一緒に頑張った」と感慨深げに振り返った。

主将の原田知希外野手は「フタバさんが引き分けて優勝決定戦になるだろうと思っていた。もらったような優勝ですね。すごくうれしいですが、僕は4年目の26歳なので前回の優勝は知らないんです」と話したながら、「打席ではしっかりと粘り、守りでもチームプレーに徹して投手を盛り立てた成果」と自信を深めていた。（高野行正）

中日スポーツの伊藤報道部長から中日スポーツ杯を送られた原田主将

サヨナラ2ラン 三京アムコ

◎三京アムコは9回2死一塁で主将の平戸が左越えに2ランを放ちサヨナラ勝ちした。3－1から逆球を狙い打ちした平戸は「腹をくくって打った。完ぺきなあたり。サヨナラ打なんて初めてです」。今大会は初出場で4位タイとなり「チームにとって自信になります」と喜んだ。

引退・木村が感謝 フタバ産業

◎フタバ産業はまさかのサヨナラ負け。あと1アウトを取り、引き分ければGTRニッセイとの優勝決定戦となっただけに惜しまれる敗退だ。今大会を限りに引退するエースの木村優投手(39)が先発、5回まで1安打無失点におさえたものの6回は制球が乱れた。木村は「やれることはすべてやってきた。フタバ産業で野球ができたことに感謝しています」と淡々と話した。

◆新春選抜リーグ勝敗表◆

順位	チーム名	試合	勝点	勝数	引分	敗数
①	GTRニッセイ	9	6.5	6	1	2
②	フタバ産業	9	6.0	6	0	3
③	ニデック	9	5.5	5	1	3
④	小林クリエイト	9	5.0	5	0	4
④	三京アムコ	9	5.0	4	2	3
⑥	大森石油	9	4.0	4	0	5
⑦	東郷製作所	9	3.5	3	1	5
⑦	菊水化学工業	9	3.5	3	1	5
⑨	イスコジャパン	9	3.0	2	2	5
⑨	豊田鉄工	9	3.0	3	0	6

【注】勝ち点は勝ちが1点、引き分けが0.5点、負けば0点（全日程終了）

◇ベストナイン ▽投手 久保田裕介（東郷製作所）▽捕手 長嶋萌（イスコジャパン株式会社）▽一塁手 藤沢明輪（三京アムコ）▽二塁手 荒木勇作（GTRニッセイ）▽三塁手 大平夏輝（GTRニッセイ）▽遊撃手 江川鑑人（菊水化学工業）▽外野手 泉宏武（ニデック）▽外野手 戸松瑞樹（フタバ産業）▽外野手 清水唯人（豊田鉄工）▽指名打者 藤江雄太（三京アムコ）※特別賞（完全試合）小松誇（菊水化学工業）

【東郷製作所】打安点
[illegible]
3 1 1 0 5 3 4 9 4

【豊田鉄工】打安点
[illegible]
2 4 2 1 8 3 0 6 1
三牧山、野瀬、森
[illegible]

投手	回	打	安	失
久保田	9	36	6	1
井上	6	23	5	2
長谷川	3	13	4	2

【小林クリエイト】打安点
[illegible]
3 6 2 2 5 3 1 3 7

【ニデック】打安点
[illegible]
3 6 2 2 5 3 1 3 7

【フタバ産業】打安点
[illegible]
5 4 2 0 9 3 3 8 3

【三京アムコ】打安点
[illegible]
2 3 0 0 3 3 1 4 3
三國田、白井、小杉藤木村

投手	回	打	安	失
木村	6	24	2	3
二村	2⅔	10	2	2
横井	6	27	5	3
山本剛	1⅔	4	1	0
山本淳	1	8	2	0